

72 年の發達に係り未知の事實尠からざるを以て之か研究を必要とす。

研究の順序及範圍 前記事項は甚だ廣汎なれとも、各項一齊に研究に著手せんとするに非ず、其輕重緩急を按し經費の許す範圍に於て研究の順序を定むべく、且又研究所は専ら學理の方面より根本的研究を爲すを以て主たる目的とするものなれば、現實の問題を捉へて専ら實用上の方面より之か解決を爲さむとする官公立試験所と、其事業に於て相牴觸し又は重複することなきを期すべく、研究問題に付ても此等の場所にて既に試験又は研究に従事せるものは協議相談に應ずるの外、成る可く重複して研究すること無かるへし。

●工業試験所(東京)の鐵材檢定 農商務省にて大

正五は年度豫算にて工業試験所の經費九萬七千餘圓を増し此程議會を通過したるを以て、東京深川なる同試験所は時局に關し最も痛切に必要を感ずるものを主とし早速擴張に著手する由なるか、其第一分析科にては鐵材檢定機を裝置して各種鐵材の強弱に關する試験をなす都合なりと。

●大阪工業試験所の鎖試験開始 大阪府立工業

試験所にては從來工業者の依頼に應じて工業品の檢定試験をなし居たるか、本年四月より更に事業を擴張して依頼以外に積極的持續的研究を開始し、以て工業界の指導開發に任するため現在員の外に技師技手各三名を増加すること

とし、其經費八千圓も既に府會の協賛を経たれば、目下海外視察中なる平田所長の歸任を俟つて夫々人選採用の運に至るへし、尙同所にては今回英國デニソン會社に註文中なるロープ及鎖加重試験機械据付の工場を建築中なるか、建坪百七十五坪幅七間長二十五間の細長き平屋建にて、内百坪を五室に仕切り前項實驗室に充つへし、これにつき岩崎所長代理は語つて曰く、我製鎖業は十五六年前に漸く獨立し、大阪に於ても古田大阪製鎖所、其端を啓きしか、爾來鎖の需要増加すると共に小森製鎖所日本チェーン株式會社等の大會社以外に二三千圓を資金とする幾多の小會社を生せしか、是等の小會社にありては其の製作したる鎖の牽引力試験設備に多大の費用を投する能はず、勢ひ高價の使用料を仕拂ひて大會社の牽引試験機械を借用せざるへからざる不都合あるを以て、今回工業試験所に於て同機械を据付け以て其の依頼に應ずべく目下其工事中なるが、來二三月頃竣功と同時に同機械も到着の筈なり、同機械は約二百噸乃至三百噸迄位の索引力試験に應し得べく、其据付費を加へて約一萬六千圓を要す云々。(一月二十六日大阪毎日)

●鐵鋼に關する改正關稅率 時局に關する輸入稅

の一部改案は過般議會を通過し、三月六日附を以て發布せられたり、改正關稅率法中鐵及鋼に關係ある品目及其稅率を掲ぐれば左の如し。